林 純薬工業株式会社
HAYASHI PURE CHEMICAL IND.,LTD.

作成日　2009/11/05
改訂日　2015/02/19

安全データシート

1. 化学品び会社情報

化学品の名称　m－ニトロ安息香酸
製品コード　A7-05
整理番号　A7-05-3
供給者の会社名称　林 純薬工業株式会社
住所　大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
担当部門　環境・品質保証部
電話番号　06-6910-7305
FAX番号　06-6910-7300
緊急連絡電話番号　06-6910-7305

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性　自然発火性固体 区分外
健康有害性　生殖細胞変異原性 区分外
生殖毒性 区分2
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語　警告
危険有害性情報　H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
注意書き
安全対策　使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
保護手袋を着用すること。(P280)
応急措置　ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
保管　施錠して保管すること。(P405)
廃棄　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
m－ニトロ安息香酸	98.5%以上	$C_7H_5NO_4$	(3)-1505	公表	121-92-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。
医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合
汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹸で洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
直ちに多量の水を飲ませる。
医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤
水噴霧,粉末消火薬剤,二酸化炭素,泡消火薬剤,乾燥砂

特有の危険有害性
火災時に刺激性もしくは有毒なフュームまたはガスを発生する。

特有の消火方法
周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。
着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火を行う者の保護
消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項
汚染された排水等が適切に処理されずに環境に排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏出物は、粉塵を発生させないように注意し、できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移動する。
回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。
長時間または反復の暴露を避ける。
作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。
取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。

安全取扱注意事項
使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

保管

安全な保管条件
施錠して保管すること。
直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

安全な容器包装材料
遮光した気密容器(ガラス、ポリエチレン)

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
m－ニトロ安息香酸	設定されていない		

設備対策
取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具	防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、ゴム長靴。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	固体
形状	顆粒状の結晶
色	淡黄色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	無臭
pH	データなし
融点・凝固点	138℃以上
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	引火せず
蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	情報なし
比重(密度)	1.49g/cm^3(20℃)
溶解度	水に難溶;0.3%(20℃)、エタノール、ジエチルエーテル、クロロホルム、アセトンに易溶。ベンゼン、石油エーテルに難溶。
n-オクタノール／水分配係数	1.83
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定。粉塵の状態では引火、爆発の可能性がある。加熱すると分解して、有毒で腐食性の窒素酸化物を生じる。
危険有害反応可能性	強酸化剤、強塩基と反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱。強酸化剤、強塩基との接触。
混触危険物質	強酸化剤、強塩基。
危険有害な分解生成物	窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性:経口	データなし。なお、健康有害性に関しては、本物質の異性体であるパラ-ニトロ安息香酸(CAS 62-23-7)の情報も参照のこと。
急性毒性(吸入:ガス)	GHSの定義における固体である。
生殖細胞変異原性	マウスの90日間混餌投与による末梢血を用いた小核試験(体細胞 in vivo変異原性試験)で陰性の結果(NTP DB(Access on Aug. 2012))により区分外とした。なお、in vitro試験では、エームス試験で陽性(NTP DB(1983))、CHO細胞を用いた染色体異常試験で陰性(NTP DB(Access on Aug. 2012))、チャイニーズハムスター肺由来細胞(CHL/IU細胞)を用いた染色体異常試験(OECD TG473、GLP)で陽性(厚労省報告(Access on Aug. 2012))の結果が得られている。
生殖毒性	マウスを用い混餌投与による継続繁殖試験において、中用量(0.75%混餌)以上または高用量(1.5%混餌)で親動物の体重が対照群より低く、一方、中用量以上または高用量で分娩時の同腹仔数の減少、出産回数の減少、さらに高用量では離乳前の仔の死亡率の増加が認められた(NTP Report RACB88105(1990))。また、ラットを用い交配前14日から交配を経て、雄は42日間、雌は妊娠、分娩を経て哺育4日まで経口投与した反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)において、高用量(500 mg/kg/day)で親動物に胃、大腿骨の病理学的変化、特に雌では死亡および毒性症状が現れ、一方、高用量で分娩率、黄体数、着床数、出産児数、生後4日の生存児数など仔の発生指標に低値あるいは低値傾向が認めら

れた(経産省生殖試験(2007)、List2相当)。
以上の2試験とも親動物に一般毒性が現れた用量で仔の発生に対する悪影響が認められていることから区分2とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットを用い交配前14日から哺育4日までの約41～45日間強制経口投与した反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)において、高用量の500 mg/kg/日群(90日換算値:約240 mg/kg/日)では雌3例が死亡し、2例は自発運動低下、不整呼吸、腹臥位など急激な状態悪化を示した。一方、中用量の100 mg/kg(90日換算値:約48 mg/kg/日)以上で前胃扁平上皮過形成が認められ、高用量の500 mg/kg/日群では血液検査値の変化、前胃の糜爛、前胃の限局性炎症性細胞浸潤、大腿骨における海綿骨の増生、さらに精巣で精上皮の変性、精巣上体の管内の精子減少および細胞残屑が認められた(経産省生殖試験(2007))。以上の影響はガイダンス値範囲を超える高用量での所見であり、唯一胃の病変のみが区分2相当となる中用量でも観察されている。経口投与による局所影響の可能性を否定できないが、本物質の腐食性/刺激性が不明なため「分類できない」とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

情報なし

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

海上規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex Ⅱ,and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない

特別安全対策

運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)

16615の化学商品(化学工業日報社)

独立行政法人　製品評価技術基盤機構

The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH

その他

当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。

現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。

当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。

当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。

国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。

このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。

当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。